

和歌を贈る

日本の三大和歌集である、万葉集、古今和歌集、新古今和歌集について学習しました。歌集の特徴や和歌の内容・技法などは、難しいと感じた人が多かったかもしれませんが。しかし、和歌とは、難解で現代人に理解できないというものではないと思います。

このことを実感してもらうために、まず、「こんなときに贈りたいこの歌詞」という活動で、自分の好きな曲の歌詞を紹介してもらいました。そして、「三大和歌集について学習した後、発展学習として「和歌を贈る」を行いました。

まず、複数の図書資料を読み比べ、その中から、心響く和歌を一首選び、筆ペンで書きました。慣れない筆ペンでしたが、味のある文字に仕上がった人が多かったです。次に、その和歌を、誰へ、どんなときに贈るかを考えます。同じ和歌を選んでも、贈る相手が違ったり、どんなときに贈るかが違ったりして、読み比べると興味深いです。さらに、どんな思いを伝えたいか、その和歌を選んだ理由、思い浮かぶイメージなどを書き加えて完成させました。

和歌を選ぶときに、「いいのがたくさんあって、どれにしたらいいか決められません！」という人が何人かいました。また、「こんなのがあったよ！」と、友達に紹介して盛り上がったっている人もたくさんいました。和歌に親しんでくれたようで、とても嬉しかったです。

ぜひ、友達が選んだ和歌や、コメントを読み比べてみてください。素敵な和歌やコメントがたくさんありますよ。そして、一首でも二首でも、心に残る和歌に出会ってくれたら幸いです。